



つくば市イメージ
キャラクター
フクン船長

もっと知りたい!

第12号

つくば市 ばん

かわら版



つくば市長 五十嵐立青

2022年8月1日

皆さんのギモンに市長が答えます

今回のテーマ つくばの歴史・文化遺産のこと、もっと知りたい!



- やあ、フクン船長! テレビで何を見ているの?
- NHK大河ドラマの「鎌倉殿の13人」フク! ハラハラドキドキの展開で目が離せないフク!
- 「鎌倉殿の13人」面白いよね。そういえば、今テレビに映っている八田知家という人が、つくばにゆかりがある人だって知ってた?
- え、知らなかったフク! どういうことか教えて欲しいフク!
- もちろん! それでは一緒に勉強していきましょう!

問 文化財課

ギモン

01

かまくらどの「鎌倉殿の13人」に出てくる八田知家って、どんな人?

はつ た ともいえ

はつ た ともいえ
八田知家ってどんな人?

八田知家は、NHK大河ドラマ「鎌倉殿の13人」に登場していることで知った人も多いと思いますが、その生涯は謎に包まれていて詳しいことは分かっておらず…。でも、宝篋山の麓にある小田城を拠点に今の茨城県南地域を治めた小田氏の始祖であることが分かっていて、つくばの歴史を語る上では欠かせない人物なんですよ。

どうして「鎌倉殿の13人」に出ているの?

「鎌倉殿の13人」というタイトルにある「鎌倉殿」は、源頼朝をはじめとする鎌倉幕府の将軍のこと。そして「13人」は、頼朝の死後に力を合わせて鎌倉幕府を支え、政治を動かした重臣の人数なんです。なんと八田知家は、その13人のうちの1人だったんです! 武士による政治の時代は鎌倉時代から江戸時代まで約680年間に渡って続きましたが、その始まりの時代に生き、幕府を支えた八田知家って、すごい人だったんですね!

どうしてつくばにゆかりがあるの?

八田知家は、源頼朝から常陸国(今の茨城県の大部分)の守護(軍の指揮者)に任じられ、常陸国の武家のトップとして活躍していたんです。この時からつくば市の小田に拠点を置いていたかは学説が分かれるんですが、小田を名乗る4代目以降が、小田城を居城として約400年間も勢力を保ったことは間違いありません。次ページでは、彼の子孫「小田氏治」を紹介しますよ!

つくば市偉人ファイル ①

頼朝の死後わずか18歳で第2代将軍に任命された源頼朝を支えるため、「13人の合議制」の一員として活躍したぞ。

はつ た ともいえ
八田知家 (1142-1218)



ギモン

02

つくばゆかりの歴史上の人物のこと、もっと教えて!

お だ う じ は る

何度倒れても立ち上がる— 戦国武将 小田氏治



戦いが上手じゃないって聞いたけど本当?



戦国時代に現在の小田で生まれた小田氏治は、八田知家の子孫でもあり、小田城を拠点としていた戦国時代の武将。何度も戦に負けては城を奪われましたが、その度に不屈の精神で立ち上がり、城を取り返すことに成功しています。それは、家臣に恵まれたこと、そして、民衆に愛され支えられていたことを示していて、小田氏治が魅力ある人物だったことがよく分かりますよね。歴史ファンの間でも、何度倒れても立ち上がる不思議な力を持つ武将として、大人気なんです!

つくば市偉人ファイル ②

鎌倉時代以来の居城である小田城の奪還に何度も成功しているんじゃ。

お だ う じ は る
小田氏治 (1534-1602)

い い づ か い が し ち

谷田部の天才エンジニア— 技術者 飯塚伊賀七



どんなものを作ったの?



江戸時代後期に現在の谷田部で生まれた飯塚伊賀七は、和時計をはじめ、多くのからくり(自動で動く機械)を製作したことで知られていて、設計士としての一面もある天才技術者。谷田部にある「五角堂」(当時困難とされた奇数角形の建築物)は彼の手によるもの。その他にも、江戸時代後期の時点で、飛行機を飛ばそうとしていたという話も残っていて…。つくば市が科学技術都市と呼ばれるはるか以前にそんなエンジニア(技術者)がいたことにびっくりですね!

つくば市偉人ファイル ③

名主として、発明で世の中の人々の役に立ちたかったんだ。「からくり伊賀七」という呼び名でも知られているよ。

い い づ か い が し ち
飯塚伊賀七 (1762-1836)

ざ っ か て ん

ふ る や こ ま へ い

雑貨店がアフリカで大ヒット— 実業家 古谷駒平



明治時代にアフリカに渡ったんだよね!



明治時代に現在の小田で生まれた古谷駒平は、当時イギリスの植民地だった南アフリカ共和国で、日本雑貨と東洋古美術を扱う「ミカド商会」を開いた人物。英語が得意であったことや、好景気の後押しもあり、南アフリカで店の経営は大成功。明治・大正時代を通じてアフリカで最も成功した日本人と言われるほどの人なんです。他にも、つくばにゆかりのある歴史上の人物はたくさんいますので、知りたい人は、文化財課に問い合わせしてみてくださいね!

つくば市偉人ファイル ④

アメリカで学んだ英語と、東洋の商品の珍しさとでも繁盛したんです。たくさんの日本人と一緒に働きましたよ。

ふ る や こ ま へ い
古谷駒平 (1870-1923)

つくばのオススメ歴史スポット、もっと知りたい!

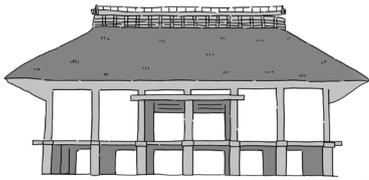
 つくばの色々な歴史スポットを巡ってみたいんだけど、どんな場所があるの?

 実は、小田城跡をはじめ、つくば市にはたくさんの歴史スポットがあるんですよ。早速見てみよう!



筑波山神社 [筑波1]

古くから信仰されてきた筑波山に、平安時代、徳一が中禅寺を開創、徳川家光が江戸の鬼門(北東)を守る神仏混合の祈願所として整備しました。境内には、日光の社寺とよく似た特徴の建造物群も残されています。



八幡塚古墳 [沼田363]

長さが約91mある市内最大の前方後円墳です。6世紀前半ごろの築造とされ、筑波山南一帯を治めたとされる筑波国造の墓とも考えられています。



小田城跡 [小田2532-2 ※案内所]

鎌倉時代から戦国時代にかけて、常陸南部に勢力を持った小田氏の居城跡です。発掘調査に基づき、堀や土塁、庭園などを整備しました。案内所に展示されている出土品からは、優雅な大名の暮らしぶりうかがえます。

平沢官衙遺跡 [平沢353]

奈良・平安時代の常陸国筑波郡の役所跡です。大型の高床倉庫跡が規則的に並ぶのが特徴で、当時の税(稲)などを保管しておく正倉院と推定されます。校倉・土壁双倉・板倉の3棟が当時の技術で復元されています。



随翁院 [上郷3148]

15世紀中頃に建てられた寺院で、16世紀初めに戦火に焼かれてしまったことで現在の場所に移されました。その後建てられた本堂、山門、鐘楼が市指定の有形文化財となっています(イラストは鐘楼)。



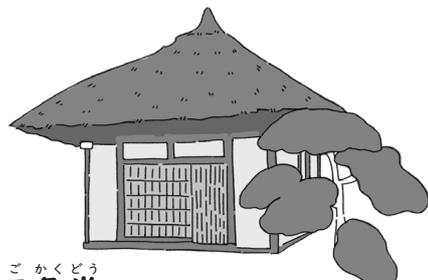
茎崎第一小学校のシイの木 [高崎2290]

高さ約14m、幹回り約5m、樹齢数100年の巨樹です。長い間、地域のシンボルとなってきたこの木は、市の天然記念物にも指定されています。なお、周囲の高まりは、1,500年前頃の古墳と考えられています。



太塚家住宅 [栗原835]

18世紀中頃に建てられた名主の民家で、茅葺き屋根や大きな木材の組み合わせが魅力です。新旧の造り方が混在する建築史上の価値も注目されます。現在も御当家が住んでいる、活きた民家としても貴重です。※個人宅につき、見学の際はお声かけください。



五角堂 [谷田部1945]

江戸時代の発明家・飯塚伊賀七が設計し、建てた建物です。内部には自動脱穀機を設置したともいわれています。奇数角形の建物では難しい、屋根を支える構造を、独自のアイデアで解決しています。

夏休み歴史関連イベント

- 平沢官衙遺跡 復元建物特別開扉**  平沢官衙遺跡
普段は見ることができない倉庫の内部を見学できます(建物内には入れません)。
日時:7月23日、8月6日・20日(土) 10:00~12:00、13:00~15:00
- 飯塚伊賀七関係資料説明**  谷田部郷土資料館
飯塚伊賀七の資料を解説するほか、復元木製和時計を動かします。
日時:8月7・14・21日(日) 10:00~12:00、13:00~15:00

市は、文化財を守り、受け継いでいくために どんなことをしているの？

市ホームページ「文化財の保護」▶



文化財って何？どうして守らなきゃいけないの？



私たちの家族にも、代々受け継がれてきたご先祖さまのお話や財産がありますよね。同じように、つくば市の各地にも、その長い歴史の中で生まれ、育まれ、今日の世代に守り伝えられてきた貴重な文化財がたくさんあるんです。これらは、歴史や伝統、文化などを理解するために、そしてこれからの文化を向上・発展していくために必要なことを教えてください。そんな文化財を守っていくこと。それが、次の世代に誇ることでできる未来を創っていくことだと思っています。



市はどんなことをしているの？



つくば市にも郷土の歴史や文化、風土を伝えてくれる貴重な文化財が数多く残っていて、市ではそれらを教育や観光・地域活性化に役立てていくためにも、大切に保存していくことが必要だと考えているんです。その一例として、まちづくりを進めていく中で行う開発などの際には、地中に埋まっている文化財(遺跡)を事前に調査し、どのように保存していくかを相談して決めています。それだけ文化財を守ることをとても大切にしているんですよ。



みんなで文化財を守っていくことが大事なんだね！



そうなんです！市では貴重な文化財を守っていけるよう、文化財を修繕したり、受け継いでいく活動などを支援しています。ただ、市や文化財の所有者だけでは、文化財を未来に伝えていくことは困難です。地域に伝わる芸能や技術、言い伝えといった形のない文化(無形文化財)なども、ふるさとへの愛着を育む上で特別な役割を担っているため、有形・無形を問わず、このような文化財をみんなで守っていきたいですね。皆さんも、このかわら版に出てきた人物や場所で気になったものがあったら、調べてみたり、足を運んでみたりして、その面白さ、奥深さを感じてもらえるととても嬉しいです！



10月には「鎌倉殿の13人」のイベントも
開催予定フク！みんなで遊びに来てフク！



つくばの歴史を
もっと学んでみよう！

文化財展示施設

※休館日については、市ホームページを
ご覧いただくか、お問い合わせください。



桜歴史民俗資料館

(流星台61-1(桜保健センター隣))

9:00~16:30

桜地区内にある多数の発掘出土品、民具、古文書などを保存、展示しています。ナウマン象の化石や縄文時代の土偶など貴重で興味深い展示品が多数揃っています。

谷田部郷土資料館

(谷田部4774-18(谷田部交流センター3階))

10:00~16:00

谷田部地区内の文化財を収集し、展示したもので、飯塚伊賀七が製作した和時計の復元品があります。

資料・パンフレット

町村史・史料集などの販売

市の調査の成果を市史史料集として刊行しているほか、市内の指定文化財などを写真付きで説明した、市の歴史と文化財鑑賞のガイドブック『つくば市の文化財』もあります。



教材用パンフレットの配布

学校教育や自宅学習に役立てていただくため、市の文化財に関する教材用パンフレットを作成しています。

つくばちびっ子博士

市内研究機関や文化財展示施設を巡り、最先端技術、自然科学、歴史や文化に触れるイベントです。



9月30日(金)まで

アンケートへのご協力をお願いします。

今後の発行の参考とさせていただきますので、『もっと知りたい!つくば市かわら版 第12号』をお読みになった感想などをお寄せください(各号ごとのアンケートとなります)。



※個別の質問にお答えすることはできません。▶ <https://bit.ly/3LorfiY>

パソコン スマホ



でつくば市かわら版をいつでもどこでも!

市ホームページ



マチイロ



YouTube

